

データセンタ用高速スイッチ：Broadcom Tomahawk 5搭載 NADDOD 製データセンタ用高速スイッチ分解レポート



製品外観



製品外観 (カバー取り外し後)

背景

AIやクラウドサービスでは、膨大なデータを一度に処理するために多数のサーバが高速で通信する必要があります。

そこで、51.2Tbps級のBroadcom Tomahawk 5を搭載した高速スイッチのように、**大容量・低遅延・高密度**を同時に満たす装置が不可欠になります。これによりAI学習の速度向上、クラウドの安定運用、HPCの計算効率改善が実現します。

エルテックはBroadcom Tomahawk 5 51.2Tbps 搭載のデータセンター用高速スイッチを入手し、分解レポートの作成を計画しています。2026.9.20リリース予定

製品特徴

N9500-640C、64x 800Gb OSFP、Broadcom Tomahawk 5 51.2Tbps、NADDOD Enterprise SONiC AI/ML/クラウド/HPC向け

ポート	: 64×800G/128×400G/256×200G/512×100G
スイッチチップ	: Broadcom Tomahawk 5
スイッチング容量	: 51.2 Tbps
転送レート	: 21.2Bpps
CPU	: Intel Ice Lake (8コア)
システムメモリ	: ECC対応32GB (16GB×2) SO-DIMM DDR4
SSDメモリ	: 240GB NVMe
ホットスワップ電源	: 2 (1+1冗長)
ホットスワップ可能ファン	: 4 (3+1冗長)
入力電圧	: 200-240VAC (50-60Hz)、180V-320VDC
動作温度	: 0° C-40° C

解析内容

- 1) 製品分解工程
- 2) 搭載主要部品調査
- 3) 各基板間(メイン基板、CPU基板、電源基板、IF基板)の接続図

レポート価格

1,800,000円

ただし現在事前予約を受け付けています。9月20日締め切り

事前予約特典：

1. レポート価格20%オフ 1,440,000円
2. 必要な部品の個別販売対応
3. 以降の詳細解析への参加が可能。
 - ・現時点では未定ですが、
 - Tomahawk 5 パッケージ断面、平面解析
 - Tomahawk 5 チップ断面、フロアプラン解析
 - などの詳細解析
 - ・その他部品などの解析